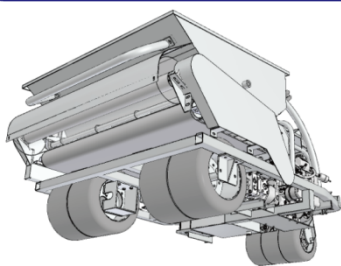


全踏圧型ドロップ式目土散布機

NONRUT TYPE SAND SPREADER GSV2000



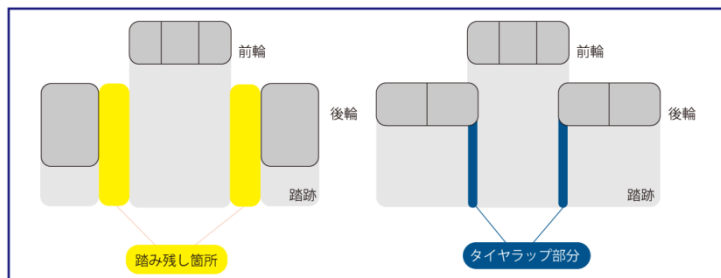
特徴その 1：後輪ワイドウレタンタイヤ



●ウレタンタイヤのメリット

芝に対して大きな負荷がかかりにくいです。
転圧効果は薄いですが、更新作業後の荒れた面を整える程度の効果はあります。
コアリング・ヴァーチカル等の作業面は潰れにくく、目土の作業能力率が上がる効果があります。

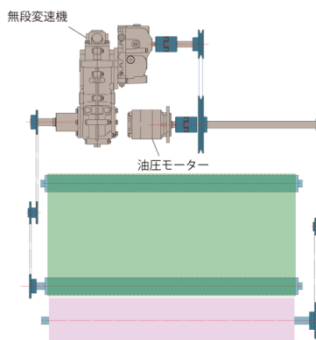
- 前後輪間にできるタイヤの隙間を無くすることで、作業後に残るタイヤ跡を解消させました。
- 3輪セパレートなので、安定した高速移動が可能です。
- タイヤは全て散布幅より内に収まっている為、散布後の砂を踏む事はありません。



タイヤラップイメージ

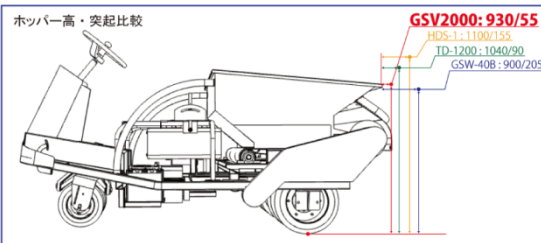


特徴その 2：作業部機構



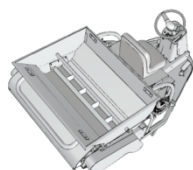
- スロットルを気にせずに、スイッチの ON-OFF による作業が可能です。
- 無段変速機を使用する事で、コンベアベルトの速度調節が可能です。
- 無段変速機を利用する事で、コンベアベルトの負荷を 1/60 まで軽減できます。

特徴その 3：ホッパー高さとブラシ部の飛び出し



- ホッパーの高さが 930mm と従来製品と比べ低く設定。またブラシ部の飛び出しも 55mm に抑えたので、ダンプからの砂の積み下ろしの負担を軽減させました。

特徴その 4：荷重軽減対策機構



- コンベアベルトの滑りや蛇行など、作業中に起きる突発的なトラブルを抑制する効果が見込めます。
- コンベアベルトの摩擦抵抗による摩耗を防ぐ事が出来る為、部品寿命が延びる効果が見込めます。

特徴その 5：散布筋軽減機構



★散布筋とは、散布斑を無くすのに、ある程度ラップさせる必要がある。その為にラップした箇所は、筋状に砂が残ってしまう事。

- 仕上がりが綺麗になる。
- 擦り込み時間を軽減できる。ラップ筋を薄く目立たなくするは、擦り込みに時間を要してしまう。
- オペレーターを選ばない。ラップ幅を小さくするには運転技術が必要ですが、散布エッジがぼけているので、ある程度大きくラップしても問題ありません。

諸元 / 型式		GSV2000
全長 × 全幅 × 全高 (mm)		2380×1540×1360
乾燥重量 (kg)		840
エンジン	型式	KOHLER CH670
	出力 (kW)	17. 2
	排気量 (cc)	674
	燃料 (l)	無鉛ガソリン : 24
走行部	走行方法	HST走行方式
	走行速度 (km/h)	0～13
	前輪タイヤ	300 φ × 150ウレタン × 3本
	後輪タイヤ	400 φ × 240ウレタン × 4本
油圧使用オイル		ISO 46 #
作業部	散布方式	ドロップ式
	散布幅 (mm)	1200
	ホッパー容量 (m³)	0. 4



初田拡撒機株式会社 本 社 / ☎555-0013
大阪市西淀川区千舟 1-5-58

東京営業所 / ☎121-0836
東京都足立区入谷 2-19-4 サンライズマンション 401
●詳しくは最寄りの代理店へ御問い合わせください。